

試合終盤にサービスエースを決めた久原選手（1月25日）



ばばだぜ！
JTサンダーズ広島

竹田 英司

1月下旬の試合前日、ムードメーカーの久原大輝選手と話す機会があった。久原選手は私の顔を見れば、「竹田さん、元気ですか。仕事つら

「懸命に」久原選手に学ぶ

くないですか」と声を掛けてくれる。「大丈夫だよ、仕事は慣れたけど、英語を使う機会が監督やトム（エドガー選手）、陳（建禎）さんと冗談を言う時くらいしかないし、自分の得意分野が生かせないのはつらいね」。そう答えると、「僕だって同じですよ。バレーボールが特技だけど、JTに入部して先発で出場できたのはたった2回ですよ。もっと試合に出たい。できれば先発で。でもね、竹田さん、僕たちは置かれた場所で咲くしかないんですよ」と熱く語り始めた。

私が「久原も大学まではスター選手だったろうから、つらいよな」と言うと、彼は「僕はスターなんかじゃないです、スタメン（先発）ではありましたがね」と笑って答え

た。そして迎えた1月25日の東レ戦。終盤、難敵の東レに押し込まれた流れで久原選手がピンチサーバーとして起用され、見事にサービスエースを決めて勝利を決定づける大きな1点をもぎ取った。

日当たりが良くないと嘆くより、置かれた場所で懸命に花を咲かせよう。久原選手から学んだ。

（JT広島マネジャー）